

の心願だつた。

黒い被布のやうなものをまとつた朝鮮人とゴクゴタした往來に出遇した。

俺は其の朝鮮人二人を、暗い路次にヒツバリ込んで談じた。

初めはおびえてゐたが、自分の着てゐる被布を指でつまみ上げて、

『之丈でよろしいのですか』と言つた。

『下着もズボンも安けりや買ふんだが』

『それぢや家へ來ませんか、賣る人があります』そこで俺は追いて行つた。

彼等二人は朝鮮語でベチャベチャ饒舌りつゞけてゐた。

場末の坂を上つて下りて穢い通りの横丁だ。

障子戸をガラリと開けると段梯子があつて、靴や其の他の履物が、雑多にならんでゐる。

二階にうつ伏せに寝てゐる男がゐた。

次の部屋から土方のやうな朝鮮人が出て來る。

解らん激語を發してゐた。